



全国初！「39歳（サンキュー）検診」モデル事業を実施します



検査の内容			
検査項目	評価内容	受診価格	
男性	AICS(5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、前立腺がん	23,000円 + 税
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	
女性	AALS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	23,000円 + 税
	AICS(6種)	胃がん、肝がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん	
	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	
	AALS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	

概要説明

四條畷市では、40歳から始まるがん検診や特定健康診査を見据えて、39歳の市民を対象とした「全国初の取組み」である「39歳（サンキュー）検診」モデル事業を5月から実施します。

本事業は、味の素株式会社が開発した、1回の採血で3大疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞）の発症リスクを評価する検査方法（アミノインデックス®リスクスクリーニング検査（※））にかかる費用の一部を助成するもので、39歳の市民が対象です。本検査は、男性が5種別、女性が6種別と多くの検査が可能であることに加え、検査時間も15分程度であり、受診者のニーズや利便性に資するものです。

今後は、味の素株式会社との公民連携により、検（健）診の受診状況などを追跡し、得られた行動変容について共同研究する予定です。研究の結果は、受診者の健康意識を高め、健康診断の継続受診及び生活習慣の見直しにつながる施策に活用します。

※新規疾患リスク検査法の開発が認められ、平成31年度文部科学大臣表彰の科学技術賞 開発部門を受賞しました。

<モデル事業の概要>

- ①対象者：昭和55年4月2日から昭和56年4月1日までに生まれた四條畷市民
- ②対象期間：令和元年5月15日から令和2年2月29日まで
- ③検査費用：13,000円（税別）※通常の検査費用は23,000円（税別）
- ④申込方法：市ホームページからの申込みフォーム 他
- ⑤検査実施医療機関：社会医療法人 信愛会 畷生会脳神経外科病院

<実施の経過>

平成31年3月に策定した「なわて健康プランⅡ（四條畷市健康増進計画）中間報告」であげられる、がん検診の課題については以下のとおりです。

- ①大阪府内平均受診率より低い



- ②検診受診率は70歳以上が約半数
- ③受診推奨を強化すべき40歳～50歳代の未受診理由は、「時間がない」
- ④市民が自身の健康に興味を持ってもらえるようなアプローチ（検診方法）が必要

問い合わせ

四條畷市立保健センター 担当：阿部・大西

電話：072-877-1231